

北区役所新庁舎基本構想検討会議 概要

第3回北区役所新庁舎基本構想検討会議		
開催日時	平成28年10月18日 火曜日 午後7時から午後9時	
会場	北区役所本館3階 大会議室	
出席者	委員	丸田委員、山崎委員、倉島委員、清水委員、大島委員、吉田委員、荘司委員、有田委員、涌井委員、佐藤委員 計10人
	事務局等	区長、副区長、総務課長、公共建築第1課長補佐、総務課長補佐、公共建築第1課職員1人、財産活用課職員2人、総務課職員2人 計10人
内容	<p>1 開会（略）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料「庁舎機能の意見概要のまとめ」、「北区役所新庁舎機能＜中間まとめ＞」、「施設計画についての意見概要」について総務課長が説明しました。 ・事前配布資料について確認しました。 <p>＜委員からの主な意見、質問＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現庁舎新館の活用の資料として、「葛塚中心部まちづくり構想」があるが、この扱いはどうなるのか。 →自治協議会提案事業として策定されたもの。今後の新館活用の検討の参考としていただきたい。 ・区役所機能の分散配置も書かれている。考え方を一致させておいたほうがよい。 →策定当時は、区役所の整備候補位置が豊栄駅の南北のどちらかということで、現在とは状況が異なる。ただ、策定の経緯は踏襲していきたい。（地域別実行計画の）葛塚地域ワークショップと情報共有しながら、新館の活用を検討していきたい。 ・前回に引き続き、一体感の醸成に寄与する庁舎について検討していただきました。 <p>＜委員からの主な意見、質問＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年会議所で区役所庁舎整備のアンケートをとっているが、アンケートは子供と親の意識付けにもなると思う。 ・施設利用の窓口一体化や、例えば施設間の道筋を歩いて気持ちいいと思えるといい。 ・南浜からは、子供たちが区役所に来る用事がないのが現状、子供たちは区役所の仕事分からないし、区役所が新しくなったらどうなるという意識がないのでは。 ・連携機能を考える中で一体感が出来てくるのではないか。いろんな意味のワンストップサービス、各関係機関の連携が図れることで一体感がでてくるのではないか。 ・庁舎整備の広報が足りない。青年会議所のアンケートがきたが、これからを担う人たちがどれだけ関心を持っているのか。 ・特産品などを発信するスペース、地域の歴史や文化を発信する常設展示スペース、福島潟の干拓などから先人の知識や苦難を克服してきた歴史についての展示スペースや、地域に根ざす文化団体の活動を発信する常設スペースの設置、各種教室や講座の開催、くつろげるスペース、インターネット環境整備が必要。 ・子供にとって魅力があるもの、例えば全体に土地が平らなので、展望台を設ければ全体が見渡せる、また空気がきれいだから星空の見学など。自然や観光をつなげていければ。 ・参加できる、便利な施設を考えていくべき。例えば新庁舎の一角に常設展示スペース 	

- ・一スを設けることで、郷土資料館まで行かなくとも用が足りるのではないか。
- ・公民館も古しいし、これからどうすべきか整理していく必要がある。コミセンなども一体として、土地を有効に活用していくことも大事ではないか。
- ・現庁舎の跡地を広場として、祭りなどに利用できたらいい。
- ・新庁舎は行政部門を優先的に入れていくべき。制限がある中でどれだけのスペースを確保できるか考えていかなければならない。
- ・図書館などの周辺施設と調和が図られなければならない。複合化で本来の機能が低下するようではだめ。
- ・市役所本庁舎は、食堂や喫茶室があるが、このような施設があると市民も利用でき、そこで話もできる。
- ・福祉において市と一体的な取り組みを行う上で社会福祉協議会が新庁舎の中に入ることも重要だ。
- ・区役所であり、制限、制約はいろいろあるが、福祉は社会福祉協議会抜きでは事業は進まない。社会福祉協議会と健康福祉課が一体的に事務を進められるような配置を検討したほうがよい。
- ・郷土資料館まで行かなくとも、年に何回か北区の歴史などを展示できるスペースが作れたらいい。
- ・公民館の大ホールを残すか残さないのか結論がでていないので、新庁舎のイメージが湧かない。
- ・新館の活用についても、葛塚コミュニティセンターも含め、検討していかなければならない。
- ・区民全員が何らかの形で携わるプロセスができたらいい。例えば全額行政が負担するのではなく、区民が一口千円を拠出し、これを財源として北のpromenade、全天候型で植樹などを整備してはどうか。
- ・公民館や社会福祉協議会、NPOを支援するセンター、子供や高齢者、障がい者などの相談支援センターなどが一緒になった、包括的な機能を持ったプラットホーム型のものができるとよい。
- ・大学生が新庁舎を活用する仕組みを作ったらどうか。例えば、ゼミや講義ができるスペースなど、半日ぐらい庁舎内で過ごすことができる仕掛けや機能があってもいい。

2 公共交通について

- ・資料3に基づき、公共交通の現状や方向性について、総務課長が説明しました。

<委員からの主な意見、質問>

- ・新庁舎にバスストップはぜひ作って欲しい。
- ・建物付近には、高齢者などを優先した駐車場が必要。
- ・豊栄駅からの850mという距離をどう考えるか。例えば子供連れの場合など、途中までアーケードはあるが、道幅が狭くなり並んで歩けない箇所もある。
- ・北区全体を考えると、公共施設を回れる形でないといけない。例えば豊栄病院と区役所との関係など、そういうアクセスを考えなければならない。
- ・市民による住民バスの担い手をどう確保するかという議論がいるのかなど。
- ・おらってのバスは補助金の制約もある。新崎駅発着だが、大学生は豊栄駅が中心で、利用率が低い。
- ・現在の庁舎は車の利用が85%という調査結果もある。現庁舎は車がとめられないこともあり、新庁舎でも駐車場の確保は必要。
→敷地全体では、駐車場は十分と考えているが、駐車場所が建物から離れてしま

うこともある。高齢者の方などは建物近くに駐車できる工夫も必要。

- ・おらってのバスは区役所まで来ているのか。
→往復2便が区役所まで来ている。

3 出張所等の機能強化について

- ・資料3に基づき、北区自治協議会から提出されました北区役所新庁舎整備位置に関する意見書の付帯意見や方向性について、総務課長が説明しました。

<委員からの主な意見、質問>

- ・区役所から出張所に月に何回か職員が出向いて手続きを受けるということも考えて欲しい。
- ・出張所の機能強化については、見込みはあるのか。
→全ての区で統一的な取り組みを行うことは難しい。例えば北区役所の健康福祉課の職員が出張所に行って、そこで受付をして区役所に戻って事務処理をして、また出張所に行ってそこで返す、間接的なやり方になるがまずはそこからできるかどうかを考えている。段階的に進めて行きたいが、できることから実施していきたい。

4 新庁舎の複合化について

- ・資料「地域の公共施設のあり方について」に基づき、新潟市の公共施設の現状や財産経営推進計画などについて、財産活用課職員が説明しました。

<委員からの主な意見、質問>

- ・政令市の中で、公営住宅を除いた市民1人あたりの面積が最大となっているのは、合併が影響しているか。
→そのとおり
- ・資料「区役所新庁舎と公共施設の多機能化・複合化について」に基づき、区役所新庁舎との多機能化、複合化を検討するエリアや施設の範囲、検討の進め方について、総務課長が説明しました。

なお、区役所新庁舎との多機能化、複合化については、資料の説明のみを行い、次回、意見を聞くこととしました。